

シンシナティ美術館について

シンシナティ美術館(アメリカ合衆国オハイオ州)は、1877年に女性美術館協会が設立を提唱したことで始まりました。アメリカで最も長い歴史を持つ美術館の一つです。「自分たちの街に本物の文化を根付かせたい」と願う市民たちが少しずつ資金を持ち寄り、自らの手で創り上げてきました。そして、いまや世界各地の6000年の歴史におよぶ73,000点以上の多彩なコレクションを所蔵しています。「芸術は全ての人のものである」という信念に基づき、入館は無料で、誰もが「本物」に触れる機会を提供し続けています。



ヨーロッパ絵画・彫刻・素描部門 学芸員
ピーター・ジョナサン・ベル

本展では、当館が145年にわたり大切に守り続けてきたヨーロッパ美術の至宝を公開します。アートを通じてシンシナティと日本の皆様がつながる、この素晴らしい機会がついに実現します。遠く離れた日本の地で、来場される皆様に当館が誇る作品をご覧いただけることは、私共にとってこの上ない喜びです。心から楽しんでいただければ幸いです。



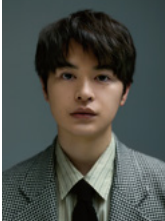
会期:2027年1月23日(土)–4月11日(日)
開館時間:9:30–18:00(入場は17:30まで)
休館日:水曜日
会場:富山県美術館 2階 展示室2、3、4

観覧料(税込) Fee for special exhibition		
一 般 Adults		¥ 2,000 (1,800)
大学生 College students		¥ 1,400 (1,200)
高校生以下 High school students or younger		無料 Free
一般前売り Advance tickets		¥ 1,800

※()内は20名以上の団体料金 ()=Fee for group tickets ※企画展入場当日に限りコレクション展もご覧いただけます。 ※各種手帳またはミライロIDをお持ちの障がい者の方および付添者1名の観覧は無料 ※学校観覧、社会教育活動としての児童・生徒の引率者は無料 ※「リピーター割」や「クマ割」を実施中。詳細については、ホームページをご覧ください。

○前売り券販売期間:2026年11月6日(金)～2027年1月22日(金)
○前売り券販売所(会期前日まで販売)＝富山県美術館、富山県美術館公式オンラインチケット、富山県水曜美術館、北日本新聞本社プレイガイド、北日本新聞販売店、アーツナビ、富山大和、BOOKSなかだ、文苑堂書店、明文堂書店、セブンチケット(セブンコード:117-588、セブン・イレブン店内マルチコピー機のみ)、ローソンチケット(Lコード:52261)など

音声ガイド(アプリ配信のみ)



オフィシャルナビゲーター
瀬戸康史さん(俳優)
料金:700円(税込)
人気俳優・瀬戸康史さんが、
出展作品の魅力をわかりやすく紹介します。

※ご利用には、スマートフォンとイヤホンが必要です。
専用アプリをダウンロードし、アプリ内でお支払いください。
※イヤホンは各自でご持参ください。
※会場で音声ガイド機の貸し出しはありません。

アクセス



- 富山駅北口から・・・徒歩 約15分／タクシー 約3分／バス 1番のりばより乗車「富山県美術館」下車すぐ
- 富山空港から・・・タクシー・車 約20分(約9 km)
- 北陸自動車道から・・・富山I.C.から国道41号経由 約15分

※お越しの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。美術館の駐車場(8:00–22:30)は限りがあり、土日祝等は混雑が予想されます。満車の際は、恐れ入りますが、周辺駐車場をご利用ください。



富山県美術館(TAD) 〒930-0806 富山市木場町3-20
Toyama Prefectural Museum of Art and Design
3-20 Kiba-machi, Toyama City, Toyama, 930-0806, Japan
tel.076-431-2711 fax.076-431-2712 https://tad-toyama.jp/



次回企画展 「竹久夢二 時代を創る表現者」展
2027年4月24日(土)–6月13日(日)(予定)

富山県美術館(TAD) 〒930-0806 富山市木場町3-20 Toyama Prefectural Museum of Art and Design 3-20 Kiba-machi, Toyama City, Toyama, 930-0806, Japan tel.076-431-2711 fax.076-431-2712 https://tad-toyama.jp/

富山県美術館開館10周年記念

シンシナティ美術館展

アメリカに渡ったヨーロッパの至宝

European masterpieces from the Cincinnati Art Museum

January 23 – April 11, 2027

ファン・ゴッホ最晩年の傑作、富山に。



フィンセント・ファン・ゴッホ(オリーブ林の中の二人)(部分)1890年

会期:2027年1月23日(土)–4月11日(日)

開館時間:9:30–18:00(入場は17:30まで) 休館日:水曜日

[主催] 富山県、シンシナティ美術館展実行委員会(富山県美術館、富山テレビ放送、北日本新聞社)、北陸中日新聞

[後援] アメリカ大使館 [特別協賛] にしたんARTクリニック

[協賛] NISSHA、キャナルサイドララジャンス、島大証券、立山科学グループ、富山信用金庫、トヨタモビリティ富山、日東メディック、ユニゾーン、リードケミカル(順不同)

[監修] 千足伸行(美術評論家・成城大学名誉教授) [企画] フジテレビジョン、中日新聞社



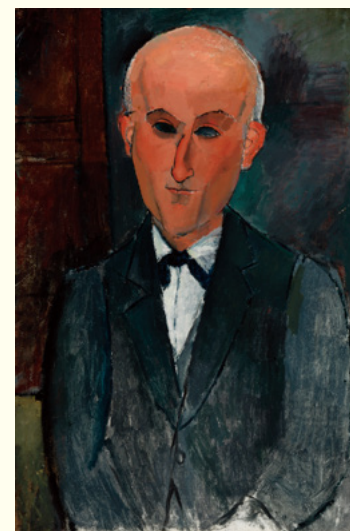
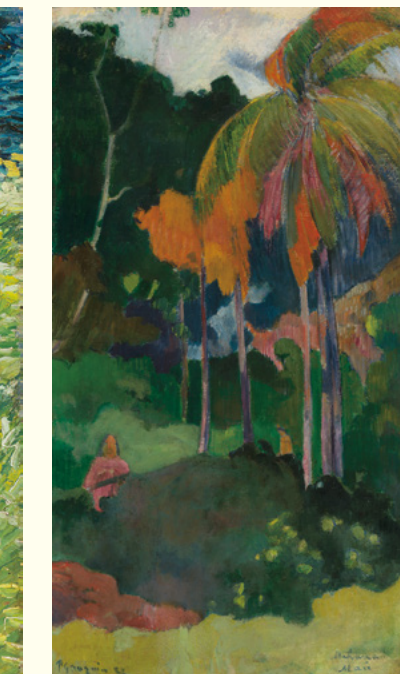
本展は、政府による美術品補償制度の適用を受けています。



ゴッホ セザンヌ マリー・ローランサン ホドラー、クールベ ブグロー、ティソ ルノワール マネ モネ ゴーギャン モディリアーニ

美術史を彩る
巨匠たちの、競演。
海を越えて、珠玉の名品84点来日、
81点が日本初公開！

145年にわたり、アメリカのシンシナティ美術館が
収集してきた7万点以上のコレクションの中から、
19-20世紀のフランス美術を中心に、
時代を牽引した芸術家たちの名作をご紹介します。
富山で出会える、またとない貴重な機会——
美術史に綺羅星のごとく輝く、
巨匠たちの競演をお楽しみください。



1. フィンセント・ファン・ゴッホ《ボブラ林の中の二人》1890年
1890年の夏に描かれた本作は、同年7月に亡くなった画家の最晩年の作品です。弟テオに宛てた6月30日付けの手紙のなかで、ファン・ゴッホは紫色のボブラの幹が立ち並ぶさまを「列柱」のようだと語っています。2. ボール・ゴーギャン《マハナ・マア》1892年
3. ジェームズ・ティソ《日本の工芸品を眺める娘たち》1869年
ティソは、ブルジョワ階級の優雅な生活を描いた精緻な風俗画で高く評価された画家です。日本美術の熱心な愛好家・収集家でもありました。本作は、当時ヨーロッパで日本趣味が流行していたことをよく映し出しています。4. ボール・セザンヌ《レモンのある青みがかった静物》1873- 77年頃
セザンヌは、印象派が用いた直観的で不規則な筆触を、次第に一定の方向に整え、抑制された体系的な筆致と綿密に構成された構図を探究しました。その画業は、ピカソをはじめ20世紀の前衛芸術家に決定的な影響を与えました。本作は、画材商に画材代の代わりに渡された作品です。5. ウィリアム＝アドルフ・ブグロー《粥を食べる少女》1874年 6. アメデオ・モディリアーニ《マックス・ジャコブ》1916-17年頃 7. アルフレッド・シスレー《ブージヴァル》1876年 8. マルク・シャガール《赤い雄鶏》1940年 9. クロード・モネ《ベリールの岩場、ポール＝ドモワ》1886年 10. フェルディナント・ホドラー《聖なる時間》1907-11年頃 11. ビエール＝オーギュスト・ルノワール《ガーデンジー島の霧》1883年

160年越しの秘密。 隠れた肖像画の発見— セザンヌ《パンと卵のある静物》

2022年、本作品に小さな亀裂を発見、調査すると、その下に静物画の一部ではない真っ白な絵具がのぞいていることをシンシナティ美術館の保存修復家が見つけた。X線で撮影したところ、静物画の下に「はっきりとした肖像画」が隠れていることが判明、カンヴァスが再利用されたことがわかりました。



《パンと卵のある静物》のX線画像(2022年5月24日撮影)